

# 千歳清掃工場だより

第 51 号

ホームページ <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp>

## 環境調査結果のお知らせ

当工場の環境調査結果は、下表のとおりです。各項目とも環境法令に基づく法基準値、さらに厳しく定めた操業協定書の基準値を下回っています。今後とも、公害防止及び環境保全に努め、環境負荷の低減に取り組んでいきます。

### 排ガス調査結果

調査項目	基準値		調査日・調査値			単位
	法律	協定書	令和4年9月27日	令和4年12月23日	令和5年2月13日	
ばいじん	0.08	0.02	< 0.001	< 0.001	< 0.001	g/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	130	20	4	7	5	ppm
窒素酸化物	84	70	46	38	36	ppm
塩化水素	430	15	10	9	9	ppm
水銀	50	—	4.2	0.82	0.46	μg/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類	1	—	0.00000013	0.000035		ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

### 令和4年度 工場周辺大気環境調査結果 (抜粋)

稼働時：令和5年1月9日～14日 停止時：令和4年11月28日～12月3日

調査項目		調査場所名								単位
		千歳 清掃工場	赤堤 小学校	桜丘 小学校	笹原 小学校	祖師谷 小学校	烏山 小学校	上北沢 小学校	武蔵丘 小学校	
浮遊粉じん	稼働時	0.039	0.038	0.047	0.056	0.043	0.043	0.039	0.033	mg/m <sup>3</sup>
	停止時	0.024	0.022	0.021	0.022	0.022	0.021	0.022	0.020	
浮遊粉じん 中の鉛	稼働時	0.01	0.02	0.01	不検出	不検出	0.01	不検出	不検出	μg/m <sup>3</sup>
	停止時	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
浮遊粉じん中 のカドミウム	稼働時	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	μg/m <sup>3</sup>
	停止時	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	

※「不検出」とは、定量下限値未満を表します。

※m<sup>3</sup>N (ノルマル立方メートル) とは、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。

※ppm は、100万分の1の割合を表します。ng (ナノグラム) は、10億分の1グラムの質量を表します。

※TEQ (毒性等量) とは、ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。

※排ガス調査における各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。

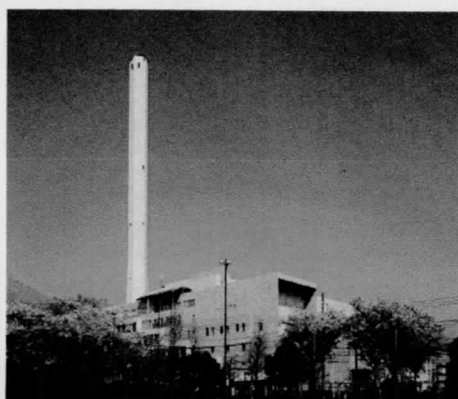
## 工場見学会について

感染症対策のため規模を縮小して開催していましたが、この度、新型コロナウイルス感染症の分類が第5類へ移行したことに伴い、個人見学会の上限を50名に、団体見学の上限を90名に戻すこととなりました。

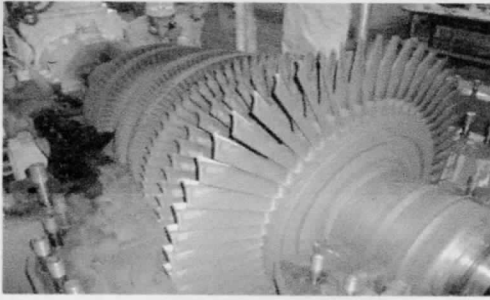
見学者の皆様は任意ですが、工場職員は引き続きマスク着用など感染症対策を講じたうえで工場をご案内します。

	受付人数	開催日	時間
個人見学会	定員 50名	第四土曜日	13:30～15:00
団体見学	10名以上 90名以下	火～金曜日 (祝日をのぞく)	午前の部 9:30～11:00
社会科見学	90名以下		午後の部 13:30～15:00

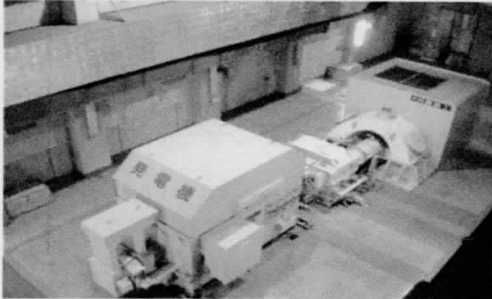
予約・問合せ先：03-3302-2592 (技術係)



## ●●●延命化工事とタービン発電機について●●●



<蒸気タービン羽根車>



<蒸気タービン発電機>

工場日より第50号でお伝えしたとおり、千歳清掃工場では令和6年2月より「延命化工事」が始まります。その工事のひとつに、蒸気タービン発電機内部にある羽根車の交換工事があります。

蒸気タービン発電機とは、ごみの焼却により発生する熱から得られる蒸気を利用して発電を行う設備です。延命化工事にて蒸気タービンの羽根車を交換することで、蒸気の力を今まで以上に効率良く電力に変換することが可能となります。これにより当工場の発電能力は10,000[kW]から12,300[kW]に向上し、一般家庭の30,000世帯分に相当する電力が発電可能となります。

発電能力の向上はCO<sub>2</sub>の排出量削減に繋がるため、持続可能な開発目標の理念に通じるものです。

これからも環境面に配慮した安全で安定的な工場運営を目指し、点検・改修を計画的に進めてまいります。

## ●●●外壁等改修工事について●●●



<ひび割れた外壁と錆汁の跡>

令和4年度に引き続き、令和5年度も「外壁等改修工事」を実施しています。今年度は北側を改修し、面積は昨年度の二倍程度です。

外壁のひび割れ部分には、「錆汁」が発生した茶色の跡があります。錆汁とは、コンクリート中の鉄筋が腐食して茶色や褐色の腐食生成物がコンクリート表面に滲み出したものです。そのまま放置すると錆が進行してしまうため、ひびを埋めて補修した後に塗装し、建物の長寿命化を図ります。

設備が密集しており、下からの足場の設置が難しい部分は、屋上からゴンドラを設置して工事を行います。

## ●●●適正なごみの分別にご協力をお願いします●●●

昨今、ごみ収集現場や清掃工場等における火災事故が後を絶ちません。千歳清掃工場内に搬入されたごみ収集車では、今年4月に車両火災が発生しました。速やかな消火活動により大きな事故となるのを防ぐことができましたが、消火後に調査したところ、車内から「リチウムイオン電池の燃え殻」が出てきました。リチウムイオン電池はスマートフォンのバッテリー等に用いられている不燃物であり、「不適正搬入物」に分類されます。

不適正搬入物であるリチウムイオン電池が可燃ごみに混入すると、今回のような車両火災の要因となり得ます。ごみ収集車によっては、1トン以上ものごみを積み込むために、特殊な構造でごみを圧縮させる機能を持ちます。圧縮によりリチウムイオン電池に外力が掛かると、発熱・発火、更には爆発に至る恐れがあります。

車両火災は収集車が危険に晒されるだけでなく、道路上での火災となれば区民の皆様にも危険が及ぶこととなります。皆様の安全のためにも、ごみの廃棄の際は地域のルールに則った適切な分別にご協力願います。



<車両内から見つかったリチウムイオン電池>



<車両火災のあった搬入車>



<世田谷区公式HP>  
電池の処分方法

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuj>

[i/curashi/004/001/d00190127.html](https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuj/ikurashi/004/001/d00190127.html)